



「令和2年7月豪雨」

今回の豪雨で被害を受けられた皆様には、心からお見舞い申し上げます。

災害からの復旧・復興には、長い時間がかかることが想定されます。学校といたしましても、生徒のみなさんが安心して、安全な学校生活を送ることができるよう、保護者の皆様、地域の皆様及び関係機関等と連携・協力してまいりたいと考えております。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



体育館に開設された避難所のような様子

新しい生活様式

—被災された方々に寄り添う学校生活—

7月4日未明、災害警戒レベル5が発令され、午前5時30分からは、本校体育館にも避難所が開設されました。

現在も、30世帯約90人の方が本校体育館で生活されています。

6月1日に感染症予防のための休校が明け、新しい生活様式を取り入れながら学校生活を送ってきましたが、今回の災害に際し、避難所とも共存する学校生活が始まっています。

学校としては、関係機関と連携を取りながら、被災された方々に寄り添うことができるよう、できる限り協力していきたいと考えています。

一部の学校生活に制限のかかる日々が続きますが、生徒及び保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

支え合う心

—自主的なボランティア活動や 全国からの支援の輪—

今回の災害に際し、学校には、全国各地から様々なご支援をいただいています。ご支援いただいた皆様には心より感謝申し上げます。

また、本校生徒の中には、休校期間中自主的にボランティア活動に取り組んだ人も多くいるようで、地域の方々から感謝の声が多数届いています。大変うれしいことです。

今後も、自分たちにできることは何かを考え、少しでも地域の皆様のお役に立てる二中生であってほしいものです。



矢黒町でボランティアを行った生徒

